

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現 状 (D O)	事務事業名 No. 540802 公共施設浄化槽点検清掃事業		主管課名 環境課												
	この事務事業の位置	政策	人と自然が共生する心地よい環境		課長名 小野田 幸男										
		施策	環境と人にやさしいまち												
		基本事業	下水道などへの接続による水洗化の促進												
	(1) 事業の概要														
	・市が管理する公共施設の浄化槽及びし尿汲取りを点検資格並びに清掃業の許可を持つ業者に委託することにより適正管理をする。 汲取った浄化槽泥汚については、「砂川衛生プラント」にて適正に処理する。			(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) …数値は(9)											
				<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>浄化槽点検回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>浄化槽清掃(汚泥汲取り)回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>し尿汲取り回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">その指標</td> </tr> </table>		名 称	単 位	浄化槽点検回数	回	浄化槽清掃(汚泥汲取り)回数	回	し尿汲取り回数	回	その指標	
	名 称	単 位													
	浄化槽点検回数	回													
	浄化槽清掃(汚泥汲取り)回数	回													
し尿汲取り回数	回														
その指標															
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		許可業者3業者 公共施設8施設 浄化槽1.0箇所 汲取り2箇所をそれぞれ割り当てて決定し、管理した。 法定検査年1回 バッ気式年6回 単独腐敗式年2回 清掃年1回以上1.8箇所を実施した。													
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容													
(2) 対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標) …数値は(9)												
市が管理する公共施設の浄化槽 市が管理する公共施設の汲取りトイレ			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>公共施設の浄化槽数</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>公共施設の汲取りトイレ数</td> <td>基</td> </tr> </table>		名 称	単 位	公共施設の浄化槽数	基	公共施設の汲取りトイレ数	基					
名 称	単 位														
公共施設の浄化槽数	基														
公共施設の汲取りトイレ数	基														
(3) 意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			(7) 成果指標(意図の達成度を示す指標) …数値は(9)												
維持管理をする			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>管理されている基数</td> <td>基</td> </tr> </table>		名 称	単 位	管理されている基数	基							
名 称	単 位														
管理されている基数	基														
(4) 結果(上位基本事業の意図)			(8) 結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) …数値は(9)												
河川等の水質の維持			<table border="1"> <tr> <th>名 称</th> <th>単 位</th> </tr> <tr> <td>河川水質調査適合率</td> <td>%</td> </tr> </table>		名 称	単 位	河川水質調査適合率	%							
名 称	単 位														
河川水質調査適合率	%														
(9) 事務事業の各種指標の実績と見込及び目標															
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値							
(5)の活動指標		回	21	14	14	14	14	14							
		回	5	3	3	3	3	3							
		回	0	0	1	1	1	1							
(6)の対象指標		基	3	3	3	3	3	3							
		基	2	2	2	2	2	2							
(7)の成果指標		基	5	5	5	5	5	5							
(8)の結果の成果指標		%	90	82	90	90	90	90							
(10) 予算費目		会計	01 一般会計			款	04	項	02	目	02				
(11) コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値							
事業費(決算又は予算額)		単位	796	538	923	923	923	923							
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0							
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0							
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0							
	その他	千円	0	0	0	0	0	0							
	一般財源	千円	796	538	923	923	923	923							
人件費 B		千円	377	371	371	371	371	371							
正職員従事時間×人数		時間×人	100 × 1	100 × 1	100 × 1	100 × 1	100 × 1	100 × 1							
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0							
その他費用 C		千円	0	0	0	0	0	0							
トータルコスト A+B+C		千円	1,173	909	1,294	1,294	1,294	1,294							
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)	千円/ 基	391	303	431	431	431	431								
	千円/ 基	587	455	647	647	647	647								
	千円/														

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 540802 公共施設浄化槽点検清掃事業	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 昭和50年代ごろ から	・下水道の普及に伴い設置数が減少しており、点検清掃の効率が低下している。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 浄化槽設置は、各公共施設担当課において委託契約を行い管理していた。その後、環境課で一括して委託契約をしている。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している 変化している内容 下水道の普及に伴い、設置数が減少した。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 自治事務	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 この事務を行う根拠又は理由	廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び浄化槽法 生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。		
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない	理由			
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる できない	拡大 縮小	内容		
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる できない	追加 拡充 絞込み	内容		
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある 影響はない		理由 又は 内容		
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる できない		理由 又は 内容	これ以上成果は向上しない。	
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある ない	庁内事業 庁外事業	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある ない	内容
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある ない		内容		下水道の供用開始に伴い下水道へ接続することにより点検や清掃が不要になり事業費の削減が可能。
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある ない		内容		
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある ない	現状で適正 検討が必要	内容		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
		・下水道事業により、し尿汲取り及び浄化槽の清掃等は減少傾向にあるが、完全になくなってしまわないので、施設の運営及び維持管理を効率的に行うことにより衛生的に処理をしていく。					